

自適生活ホーム花もよう

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月24日

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--|-------|-----------|
| 事業所番号 | 3470205877 | | |
| 法人名 | 株式会社 LAT | | |
| 事業所名 | 自適生活ホーム 花もよう | | |
| 所在地 (電話番号) | 広島市西区庚午北二丁目5-5 東高須コミュニティホーム (電話) 082-271-1165 | | |
| 評価機関名 | 社団法人広島県シルバーサービス振興会 | | |
| 所在地 | 広島市南区皆実町1丁目6-29 | | |
| 訪問調査日 | 平成 19 年 7 月 11日 | 評価確定日 | 平成19年8月7日 |

【情報提供票より】(19年5月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|--------|---------------------------|
| 開設年月日 | 平成17年6月1日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 16 人 |
| 職員数 | 23 人 | 常勤 | 10 人, 非常勤 13人, 常勤換算 10.3人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|----------------|----------------|
| 建物形態 | 併設 / <u>単独</u> | 新築 / <u>改築</u> |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造り | |
| | 3 階建ての | 2 階 ~ 3 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|---------------------|----------------|-----------|
| 家賃(平均月額) | 48,500 円 | その他の経費(日額) | 1,000 円 |
| 敷金 | <u>有</u> (250,000円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | <u>有</u> () 円 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 300 円 | 昼食 500 円 |
| | 夕食 | 500 円 | おやつ 200 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要(5月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名 | 男性 | 3 名 | 女性 | 13 名 |
| 要介護1 | 3 名 | 要介護2 | 4 名 | | |
| 要介護3 | 6 名 | 要介護4 | 2 名 | | |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 82.8 歳 | 最低 | 70 歳 | 最高 | 94 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|------------------------------------|
| 協力医療機関名 | 下山クリニック、荒木脳神経外科、山本内科循環器科、からさき歯科その他 |
|---------|------------------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営母体である建築会社の製造業的な管理手法を上手く取り入れており、また職員と管理者との関係もよく、開設2年でよくここまで作り上げたものだと感心した。3階建てアパートを改造した施設で、玄関は喫茶店と間違えられることがあるらしい。改築の制限はあるものの、屋上緑化も採用したり、とアメニティ改善の努力も見られる。食事や整容、環境では個別対応もなされている。職員の研修や資格取得にも積極的で、人を育て大切にしようとする姿勢も感じられた。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 開設して二年有余で、まだ地域との交流も少ないようにも感じられた。これからはもっと地域(行政、町内会、ご近所)に対して、施設としての要望や関わり方などを示していいのではないかと。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) いろんな面で頑張っておられる。これからは他の施設の見学や、勉強会への参加などで、新しいヒントを求めながら評価を活用し、より一層のレベルアップを目指していきたい。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 包括支援センター・社会福祉協議会・民生委員等、地域、行政の多くの参加により開催されている。この中では、行事の報告や計画、入居者と地域の方とのふれあい、制度の勉強会など、毎回テーマを決めて行われている。もっと貪欲に社会資源を活用されれば、さらに良いサービスが提供され、地域との交流も密になると思われる。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 毎月個人別にホーム便りを送っており、月に一度は泊まる家族もおられるなど、家族とのコミュニケーションは良好であった。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 施設内に地域交流館や通所サービスも設けられている。これらをもっと自由に活用し、また運営推進会議同様に今以上に利用者が巻き込んでの日常的な活動が行われることが期待される。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|--|-----|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 施設名の花もようを活かして、そこから理念を打ち出しされているが、これらは個別的な対応の仕方や大切さが十分示されている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念の内容は韻文的理念で、長くもなく、また親しみやすく、施設名からもすぐ内容を思い出すことが出来るようにされている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会には所属し、運営推進会議には町内会の代表役員も参加されているなど、また、会議参加者と入居者との交流も常に図られている。また、このほか町内会行事にも積極的に参加されている。 | | 地域とのコミュニケーションの仲介者としての視点から、例えば、よく利用する八百屋さんを巻き込むことなども積極的に考えてみていただきたい。地域交流スペースの活用にも、もっと自由参加型に考えられても良いと思う。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 管理者・主任が集まり、評価結果に基づき改善すべき点には取り組んでいる。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | この会議への評価としての取り組みは、まだなされていない。 | | いろいろな立場の参加者方々に、どんどんお願いごとを依頼したり、提案を貰ったりするなど、会議を積極的に活用しサービス向上につなげていただきたい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|--|-----|--|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 現在では、社会福祉協議会に積極的に出入りしながら依頼ごとをしている。 | | 運営推進会議にも積極的に行政の参加を促したり、また、公民館などの公的施設の活用も考えらるともっとサービスの幅が広がると思われる。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月利用者ごとに便りを送っている。もちろん、健康状態に変化があった場合は都度連絡している。 | | 写真を沢山撮られているが、たよりに載せられるのは限られている。手間は掛かるが、CDにコピーするなどして少なくとも年に1～2度は家族にお渡しすると喜ばれると思われる。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議には、毎回出きるだけ家族も参加し、意見交換している。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 担当フロア職員は基本的には固定化されており、異動は行われているが、また離職職員については、できるだけ話題にしないように指導している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 研修には積極的に参加させている。資格のない者には出きるだけヘルパーの資格を取るよう支援している。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者、職員レベルでの交流はない。 | | 施設間の交流を図りながら、サービスの質の向上をさせていく取り組みを検討されることを望みます。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|-----|-----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 急遽入居して混乱されるときは、デイサービスのフロアで慣れていただくなど、早めに落ち着かれるよう対応している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理や行事など、利用者から知恵を貰うようにしている。 | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 疾患や興味など個々に応じて、室温を調整したり、園芸や陶芸をたのしんでいただいたりしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 計画作成担当者はケアシートを参照するとともに、家族や担当職員の意見を聞きながら作成している。 | | |
| 16 | 37 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | モニタリングを通して計画の見直し、家族への説明・相談などを行っている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|--|--|-----|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 状態に応じてデイサービス利用者との交流を図っている。 | | 地域交流館の活用を活性化させながら、そこへ出入りされる地域の方と入居者との交流も図っていただきたい。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 近隣の医療機関とは契約はしているが、このほか利用者のかかりつけ医との関係も尊重し対応している。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者や家族などの意見や希望を汲み取りながら、成年後見人を検討したり、社会福祉協議会の「かけはし」を活用したりしている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 記録には、個人情報の保護の立場からフルネームを使わないようにしている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 集団的な処遇にならないよう対応している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-----|--|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事はそれぞれの好みに応じて個別にも対応している。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 希望やその時の疾患状態に応じて対応している。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 経験を生かしたアクティビティや、屋上での催しや食事会などで楽しみを支援している。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 近所の公園や外食、ドライブに出掛ける演出をしている。 | | 近所の八百屋等からは、配達してもらうだけでなく、入居者と一緒買い物に出掛けるなども検討していただきたい。 |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 現在では、夜間・緊急時のみ施錠している。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | ベランダなどに避難経路を明示し確保もしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養管理台帳などに記入し、常に確認されている。また、就寝前には水分補給にも心掛けている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 施設はアパートの改築だが、その条件の中で最も生活感を醸すよう花を飾ったりしている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | これまでそれぞれの家庭で使用されていた、馴染みのある什器も持ち込まれている。 | | |

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 自適生活ホーム 花もよう (2階)

事業所住所 広島市西区庚午北二丁目5-5 東高須コミュニティホーム

記入年月日 平成 19 年 6 月 7 日

記入者 職 管理者 氏名 原田真智子

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|

理念の基づく運営

1 理念の共有

| | | | | |
|---|---|--|--|---------------------|
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。 | 「一人ひとりが大切な素敵な花、いろんな花があっていい。そんな花もよの彩りを大切にします。」を理念に掲げ、個々のカラーを出せるように工夫している。 | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | リビングに理念を掲示し、いつでも確認できるようにしている。 花もよう賛歌を作り(リンゴの歌の替え歌)、理念を提唱している。 | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。 | 玄関横に掲示し、来訪時には目に付くよう配慮している。また、地域の方に理念を理解してもらえよう運営推進会議等の会合を通して働きかけている。 | | 運営推進会議を通して取り組みつつある。 |

2 地域との支えあい

| | | | | |
|---|---|--|--|---|
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 建物周りには花壇やプランター等を配置し、入りやすい雰囲気作りをしている。 | | ご近所の方をイベント等に招待し、日頃の挨拶だけでなく、気軽なお付き合いや、声掛けができるようにしたい。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 近隣の公園で行われる町内会の催し物には、利用者とスタッフが参加させてもらい、楽しませてもらっている。 | | 老人会(鈴の会、青葉会)や女性会との交流が少ないので今後、実施したい。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|---|--|-----------------------|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 2ヶ月おきに運営推進会議を開催し、町内会の情報を得るとともに、地域交流に関する意見交換を行っている。 | | 地域の要望を踏まえながら、運営推進会議や見学会を活用して、介護保険制度や高齢者介護等の勉強会等を実施したい。 |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 自己評価を実施することにより、各人の日頃の業務内容やケアに対しての振り返りを行い、全体会議等の話し合いにより、業務の改善に取り組んでいる。 | | 今後も、自己評価基準を積極的に活用して、自己チェックを実施していきたい。 |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 現段階では現状報告を行い、GHの現状を見ていただき、利用者とのふれあいを持っていただきながら事業所の現状を理解していただいている。また、地域の行事情報などを提供していただき、参加している。 | | 出来ることから実践している |
| 9 | 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | | | 行政からの情報物を全職員に閲覧できるよう工夫する。 |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 市社会福祉協議会や地域包括支援センターと協議し、かけはし等を活用している。 | | 研修会への出席や、資料配布により情報を共有する。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 研修への参加やパンフレットや資料の配布等を行うとともに、職員同士の声かけや個人面談等により虐待の防止に努めている。 | | 身体的な虐待についての認識はできているが、接遇の面で認識が甘いところが一部の職員に見られるので、個人面談等を継続しながら改善を図りたい。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 4 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 家族面談を随時行い、質問等に応えている。 | | |
| 13 | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。 | 不満・苦情を受けると、管理者に報告し、迅速に改善するよう取り組んでいる。 | | |
| 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。 | 毎月、利用者の今月のご様子、お小遣い記録、その他連絡事項等を家族に送付している。 | | |
| 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 面会時に相談をお聞きし運営に反映している。また、毎回、運営推進会議に家族が参加し、意見交換の場を持っている。その他、苦情相談担当、第三者委員を配置するとともに、玄関にはご意見箱を設置している。 | | |
| 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 個人面談を行い、運営者に報告し改善している。 | | |
| 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。 | 利用者に状況変化があれば、すぐに管理者に報告し、勤務調整等の対応を行っている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|---|-----------------------|--|
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | <p>小規模な事業所なので、介護者全員が利用者全員の基本的な状態を把握し、なじみの関係作りができるよう交流の機会を多く作っている。 離職した職員については話題にしないなどの配慮をしている。</p> | | |
| 5 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>基幹職員の他、パート職員についても意欲のある職員には研修機会を確保している。講習、研修、資格取得等の情報を、随時掲示している。</p> | | <p>新人職員には数日間、指導者を付けて業務を実施している。</p> |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | <p>運営者レベルでの他の事業所との勉強会や情報交換を行っているが、管理者、職員レベルでの同業者交流は行っていない。</p> | | <p>管理者レベルでの同業者交流を増やしていきたい。 グループホーム事業者交流会への入会を検討中。</p> |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | <p>地域交流室、相談室等を休憩室として開放している。社員交流会や忘年会、親睦会等の費用補助を行っている。また、ストレスを感じている職員との面談を適宜行い、改善に努めている。</p> | | <p>3ヶ月に1回個人面談を行う。</p> |
| 22 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p> | <p>努力や実績が認められた職員は、昇格、昇給等を行っている。また、勤務状況に何らかの要改善点が見られる職員については、面談または再指導を行っている。</p> | | <p>3ヶ月に1回個人面談を行う。</p> |
| <p style="text-align: center;">安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> | | | | |
| 1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p> | <p>個別に傾聴し、介護計画につなげている。</p> | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|---|---|-----------------------|---|
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | まずは、家族が安心して利用者を預けることができるよう、利用者同伴での見学をお勧めし、不安材料についても正直にお話している。 | | |
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 必要としている支援に対して本施設ではどのような対応ができるのか、できないのか、将来的な展望も含めて相談に応じている。 | | ケアマネージャーと相談し対応している |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならな馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入所歓迎会を行い、暖かく和やかな雰囲気でお迎えしている。また、入所時の混乱が予想される場合は、事業所の多機能性を活用し、デイサービス利用をして慣れていただき、徐々に入所へと馴染めるよう工夫している。 | | |
| 2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 会話を重ねることにより、支えあう想いを伝えられる関係づくりを行っている。 | | |
| 28 | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 家族にはできるだけ面会に来ていただくようお願いをしている。また、電話により常に家族との連携を取っている。 | | |
| 29 | 本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。 | 本人と家族の関係を十分把握した上で、相互の情報を適切に伝え、良い関係が築けるよう支援している。 | | 自宅に帰りたいという利用者の思いを理解し、面会後は利用者が寂しさを感じないようできるだけ介護者が寄り添うようにしたい。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|--|-----------------------|--|
| 30 | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>電話での会話や、面会等馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。 また、可能な範囲で思い出深い場所にお連れしたり、昔の写真を見たりしている。</p> | | <p>軽度の認知症の方は、元気なうちに本当に帰りたい場所に一度お連れしたい。</p> |
| 31 | <p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p> | <p>孤立することのないよう、同じ趣味を見つけあげたり、会話の中に入れてあげたり、席配置を変更したりしてなじみの関係作りを行いながら、利用者同士のかかわりが増えるよう援助している。</p> | | <p>共通点を見つけ、互いが関われるように職員が配慮する。</p> |
| 32 | <p>関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p> | <p>ご家族と連絡を取ったり、移転先を訪問してご様子を確認している。</p> | | |
| <p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> | | | | |
| <p>1 一人ひとりの把握</p> | | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している。</p> | <p>傾聴し、利用者の思いや意向の把握に努め、ご本人のニーズを取り入れケアにつなげている。</p> | | |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p> | <p>個別ファイルや、利用者との会話や家族へのヒヤリングにより情報の把握に努めている。</p> | | |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p> | <p>ケアシートや気付き連絡ノートを利用し、職員全員が把握できるよう勤めている。</p> | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|---------------------------------|
| 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 管理者が、本人・家族の意向を聞き、全職員の意見も合わせて介護計画を作成している。 | | |
| 37 | 状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 介護認定更新後や区分変更後には、随時本人・ご家族の要望を聞き、3ヶ月ごとに見直し、作成している。 | | |
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | ケアシート・業務日報・気づきノートを活用している。 | | |
| 3 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 生活のメリハリや社会性の維持のため、状態に応じて、デイサービスを利用している。 また、要望があれば、家族の宿泊も受けている。 | | |
| 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | ボランティアの協力により芸能音楽等のイベントを行っている。 消防署の立会いで防災訓練を実施している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|---|-------------------|---------------------------------|
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 必要としている利用者がいないので利用していない。 | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 運営推進会議に出席にて、入居者とふれあいを持ってもらっている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。 | 本人や家族の意向に沿ったかかりつけ医の受診を行っている。 ケアシートや申し送り等を基に受診ノートを作成し、受診時情報を密にして相談している。 | | |
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 訪問医療を取り入れている。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 訪問看護を取り入れている。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 主治医と連携をとり対応している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|---|-------------------|--|
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p> | <p>入所時に、ご家族には事業所の方針を説明して同意を得ている。</p> | | <p>職員全員で方針を共有し、対応できるようにするためにも、繰り返し話し合う必要がある。</p> |
| 48 | <p>重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>訪問医師・主治医と話し合っている。</p> | | |
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>ご家族と常に話し合い、状態変化に対応出来るよう努めている。</p> | | |
| <p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | |
| <p>1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p> | <p>氏名を呼び尊重する配慮をしている。 記録はイニシャルで行っている。 個人情報は慎重に取り扱うよう繰り返し伝えている。</p> | | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>十分に説明を行い、自己決定ができるよう支援している。</p> | | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>希望に添った支援をしている。 無理をせず、個人のペースに合わせている。</p> | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|--------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 身だしなみ等、着替え時は気を配り支援している。 2ヶ月に1度、訪問理容を実施している。 | | |
| 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 食事は一緒に摂り、準備・片付けは利用者の状態に応じてお願いしている。 好きなメニューなどをお聞きして、献立に取り入れている。 | | |
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 楽しみの一つとして、お酒などは居室にて飲用して戴いている。 | | |
| 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 排泄のパターンをケアシートの活用で把握し、失敗のないよう支援している。 | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 希望を事前に聞いているが、体調やタイミングで変更している場合もある。 週3回を予定している。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 就寝前に不安等があれば、傾聴を行い眠れるよう支援している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|---------------------------------|
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 個別に希望の場所をお聞きし、お連れしている。 散歩や買物は、日常的に随時対応している。 | | |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | お金の管理は職員がしているが、食べたい物や欲しい物があれば、お聞きして一緒に買物へ行っている。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 天候や気温等に配慮しながら、外出できるよう支援している。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。 | 行事などを企画して、スタッフと共に外出できる機会を設けている。 | | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 希望があれば、スタッフが電話をかけたたり、葉書、封筒などを用意して対応している。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 居心地良く過ごせるよう、環境の整備を行い工夫している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|---|-------------------|---------------------------------|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | <p>身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>職員は正しく理解しており、拘束はしていない。但し、生命の危機がある場合は、家族等に了解を得て行う場合も有る。</p> | | |
| 66 | <p>鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> | <p>不穏時・夜間・緊急時には入口の鍵をかける場合も有るが、通常は鍵を掛けないよう取り組んでいる。</p> | | |
| 67 | <p>利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p> | <p>担当を決めて、安全の確保に努めている。</p> | | |
| 68 | <p>注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p> | <p>危険かどうか、職員で話し合い取り組んでいる保管する場所は決めている。</p> | | |
| 69 | <p>事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p> | <p>一人一人の状態を把握し、事故防止に努めている。</p> | | |
| 70 | <p>急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。</p> | | | <p>マニュアルは有るが、訓練を定期的に行う。</p> |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|---|--------------------|----------------------------------|
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | ベランダに物を置かないようにし、洗濯物は屋上に干す。 災害時は、大きな声を上げ近隣の方に応援を求め。 | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。 | 入居時・面会時など、機会が有るごとに繰り返し説明している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 報告・連絡・相談を行い、情報の共有をして対応している。 | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬の一覧表(薬リスト)を作成しており、状況変化に対応できるようにしている。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。 | 申し送り時、排便確認を行い飲食物の工夫や服薬管理を行っている。 | | |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 声かけや、介助を行い口腔ケアを実施している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | 業務日報やケアシートを活用して、摂取量の把握をしながら、食事の工夫や嗜好の考慮を行っている。また、献立のメニューが重ならないよう業務日報を活用している。 | | |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。 (インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等) | マスクや、手洗いの遂行をしている。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 食中毒には特に気をつけ、衛生管理を行い消費・賞味期限の過ぎた物は使用しないなど気をつけている。 | | |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 花壇に花などを植えて、親しみやすく明るい雰囲気作りをしている。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 季節感を感じられる共同作業で作った作品を居間等に掲示し、グループの輪作りに役立てている。蛍光灯なども明るすぎないように、調整している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-------------------|---------------------------------|
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 椅子やソファの配置など、工夫をして取り組んでいる。 | | |
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 使い慣れたものなどは、持ち込まれ使用されて以前ご本人が、過ごされていた部屋のように居心地良く過ごせるよう配慮している。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 空調の調節など、温度調節に気をつけてこまめに行っている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 転倒につながる物の排除、手摺の設置、歩行時の見守りなど工夫している。 センサーコール・ベルなども活用している。 | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 傾聴や説明をして、混乱や失敗を防ぎ自立・安心して暮らせるよう努めている。 | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 屋上でレクリエーションを行ったり、食事を摂ったりと楽しんでもれえるよう活用している。 | | |

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 自適生活ホーム 花もよう (3階)

事業所住所 広島市西区庚午北二丁目5-5 東高須コミュニティーホーム

記入年月日 平成 19 年 6 月 9 日

記入者 職 管理者 氏名 氏 本 博 子

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|

理念の基づく運営

1 理念の共有

| | | | | |
|---|---|---|--|---------------------------|
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。 | 「一人ひとりが大切な素敵な花、いろんな花があっていい。そんな花もよりの彩りを大切にします。」を理念に掲げ、一人一人にあったサービスを提供している。 | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 朝の申し送りなどで理念を言うように、心掛けている。 | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。 | 地域の人に、理解してもらってまでいけてないのが現状である。 | | 運営推進会議を通して理解して頂けるようにしている。 |

2 地域との支えあい

| | | | | |
|---|---|---|--|--------------|
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 今の所、近所の付き合いなどはしていないが、建物周りには花壇やプランター等を配置し、入りやすい雰囲気作りをしている。 | | 近所の方と挨拶を交わす。 |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 近隣の公園で行われた餅つき大会や花見会などの町内会の催し物には、利用者とスタッフが参加し、楽しませてもらっている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|---|--|-----------------------|--|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 2ヶ月おきに運営推進会議を開き、情報交換をしている。 | | |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 管理者・主任が集まり、自己評価を実施することにより、日頃の業務内容やケアに対する振り返りを行い、業務の改善に取り組んでいる。 | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 現段階では現状報告を行い、GHの現状を見ていただき、利用者とのふれあいを持っていただきながら事業所の現状を理解していただいている。また、地域の行事情報などを提供していただき、参加している。 | | 評価への取り組みについての話が出来ていない為、今後は検討して行く。 |
| 9 | 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 今の所、実施していない。 市からの掲示物や食中毒等の注意ポスター等を掲示している。 | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 今、現在は必要としている人はいない。 | | 研修報告書には必ず目を通し、配布の資料は各階一部ずつ置く。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 研修への参加やパンフレットや資料の配布等を行うとともに、職員同士の声かけや個人面談等により虐待の防止に努めている。 | | 身体的な虐待についての認識はできているが、接遇の面で認識が甘いところが一部の職員に見られるので、個人面談等を継続しながら改善を図りたい。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 4 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 運営者、管理者がご家族に十分な説明を行い理解・納得をしていただいている。 | | |
| 13 | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。 | 今の所、利用者様からの苦情は無く「ここはいい所だ。」と言って下さっている。 | | |
| 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | 毎月、利用者の今月のご様子、お小遣い記録、その他連絡事項等を家族に送付している。健康状態に変化があったなどは、主治医の先生の所見等を家族へ随時報告している。 | | 御家族からのクレームはない。 |
| 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 面会時に相談をお聞きし運営に反映している。また、毎回、運営推進会議に家族が参加し、意見交換の場を持っている。その他、苦情相談担当、第三者委員を配置するとともに、玄関にはご意見箱を設置している。 | | |
| 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 月に一度スタッフ会議を開き意見や提案を聞く機会を作っている。 | | 良い意見はすぐに反映させている。 |
| 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。 | 利用者に状況変化があれば、すぐに管理者に報告し、勤務調整等の対応を行っている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|--|-------------------|---|
| 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | あまり異動なく馴染みの関係を大切にしている。離職した職員についてはできるだけ話題にしないようようにしている。 | | |
| 5 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 基幹職員の他、パート職員についても意欲のある職員には研修機会を確保している。講習、研修、資格取得等の情報を、随時掲示している。 | | 新人職員には数日間、指導者を付けて業務を実施している。 |
| 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 運営者レベルでの他の事業所との勉強会や情報交換を行っているが、管理者、職員レベルでの同業者交流は行っていない。 | | 管理者レベルでの同業者交流を増やしていきたい。 今後は他施設の見学にも行きたい。 |
| 21 | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。 | 地域交流室、相談室等を休憩室として開放している。社員交流会や忘年会、親睦会等の費用補助を行っている。また、ストレスを感じている職員との面談を適宜行い、改善に努めている。 | | 仕事内のストレスは、管理者・主任に相談してもらうようにする。 |
| 22 | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。 | 努力や実績が認められた職員は、昇格、昇給等を行っている。また、勤務状況に何らかの要改善点が見られる職員については、面談または再指導を行っている。 | | 個人面談を3ヶ月に1回実施する。 実施する月 6月・9月・12月・3月 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安心と信頼に向けた関係づくりと支援</div> | | | | |
| 1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。 | 面談に訪問し、家族の話をよく聞くように努力している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|---|---|-----------------------|----------------------------------|
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | 御家族が不安のないように、利用になるまで何度も、話し合いの場を作っている | | |
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 御家族からの、相談は必ず、家族相談に記入して、残している。 必要としている支援に対して本施設ではどのような対応ができるのか、できないのか、将来的な展望も含めて相談に応じている。 | | ケアマネージャーと相談し対応に努める。 |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならな馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入所歓迎会を行い、暖かく和やかな雰囲気でお迎えしている。また、入所時の混乱が予想される場合は、事業所の多機能性を活用し、デイサービス利用をして慣れていただき、徐々に入所へと馴染めるよう工夫している。 | | |
| 2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 料理の味付けや、昔からの伝統行事など、分からない事などを、利用者様から色々教えてもらっている。 | | |
| 28 | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 御家族との連携はつねに取っている。 また、場合によっては家族にも泊まって頂き、夜間の状態を見ていただいている。 | | |
| 29 | 本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。 | 面会時には最近の健康状態と生活情報を報告し、良い関係が築ける様に支援している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--|---|-----------------------|----------------------------------|
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 電話での会話や、面会等馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。 | | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | レク活動をとおり、利用者様皆一緒に活動を提供している。 | | ゲーム・嚙下体操など。 |
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 入院された方などは必ず面会に行っている。面会に行った時の、状態は必ず上司や他のスタッフに報告している。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | その人らしさを大切にし、その人にあったケアに努めている。 | | 園芸が好きな方は季節の花を植えるよう心がける。 |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 個人ファイルやサマリ、家族面談などを通して把握に努めている。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | ケアシートや連絡帳をみて、職員全員が把握できるようにしている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|---------------------------------|
| 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 計画作成担当者が、ケアシートを参照し、また担当スタッフ及び家族の意見を聞きながら、介護計画を作成している。 | | ご家族様にもより積極的に計画に関わっていただく。 |
| 37 | 状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | モニタリングを通して見直しを行い、新たな介護計画を立て、ご家族に説明、相談している。 | | |
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 定期的に見直しを行い、その都度、状態を詳しく記録している。 | | |
| 3 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 生活のメリハリや社会性の維持のため、状態に応じて、デイサービスを利用し、喜んで戴いている。ている。 | | ご家族様が希望されれば、宿泊も対応している。 |
| 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | ボランティアの協力により芸能音楽等のイベントを行っている。 消防署の立会いで防災訓練を実施している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|-----------------------|----------------------------------|
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 必要に応じて利用している。 | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 運営推進会議に出席にて、入居者とふれあいを 持ってもらっている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。 | 今まで行かれていたかかりつけ医には行かれて おり、受診の際には受診ノートを持参し先生に 観て戴いている。 | | 先生からの情報があればすぐに電話をかけ て確認している。 |
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 訪問ドクターに相談し、分からない事や困った 時など聞いている。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 訪問看護師さんに24時間困った事は相談して いる。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 面会に行き病院側と情報交換をしている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--|-------------------|------------------------------------|
| 47 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p> | <p>状況に応じて先生に相談して御家族の方針で共有している。</p> | | <p>文書を提示している。</p> |
| 48 | <p>重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | <p>常に往診ドクターに相談し往診してもらっている。</p> | | |
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。</p> | <p>サマリーを通し情報を知らせる文書を出している。</p> | | |
| <p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | |
| <p>1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p> | <p>記録等に関しては、イニシャル書きにしており、個人情報の取扱いは慎重に行うよう徹底している。</p> | | <p>スタッフ同士も言葉使いには、注意している。</p> |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>好きな物が食べたい時などは出来るだけ、そえるようにしている。</p> | | <p>麺類がお好きな方が多く、週1~2は麺類をおだしている。</p> |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>レク活動時体調不良の時などは、本人の気持ちを尊重する。</p> | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|------------------------------------|-------------------|--------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 知り合いの美容院に依頼しホームに来ていただいている。 | | |
| 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 馴染みの食器を使って戴き、楽しみながら食事をしてもらっている。 | | |
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 誕生日会や外食時などビールを飲む事もある。おやつ也希望も聞いている。 | | |
| 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 時間を決めてさりげなく声かけをし、トイレ誘導をしている。 | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 希望日に合わせて入浴するかどうかをお聞きし時間も聞いている。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | | | 熱いお茶をお出しし、少し会話をし、休んでいただく。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|--------------------|--------------------------------------|
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 天気の良い日などには、近くの公園に散歩に行ったり、屋上でランチなどを楽しむ。 | | |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 数名の方が自己管理されているのでスタッフと一緒に買い物などに行かれる事もある。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 送迎のある病院には、本人の希望時に行って戴く。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。 | 月に一回外食、又はドライブに出かけるように心がけている。 | | ドライブに出掛けたときには、喫茶店に寄り、コーヒーやケーキなどを楽しむ。 |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 御本人の希望時は必ず電話を掛けて戴いている。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 自室にてお話しをしていただき、飲み物等も一緒に自室で飲んでいただいている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|--|-------------------|---------------------------------|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束はしていない。 | | |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 夜間・緊急時のみ鍵をかけている。 入所者様に激しい混乱が見られた場合は、緊急的に玄関の鍵をかける事がある。 | | |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 日勤から夜勤への申し送りは必ず実施して体調不良の方の場合は観察を密に心がけている。 | | |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 刃物・ハサミ類は必ず確認して目につかない所にしよう。 | | |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 一人一人の状態を応じた事故防止に取り組んでいる。 | | |
| 70 | 急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。 | | | マニュアルを活用し、訓練を定期的に取り組んで行く。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|--|-------------------|---------------------------------|
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 洗濯物はなるべく屋上に干しベランダに、なるべく干さないよう心がけている。 | | |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。 | 入居時に説明している。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 何かあったら管理者に報告し指示を仰ぐ。 | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 薬の表が出来ていて、薬の変更があったら、必ず記入しスタッフ全員が見るようにしている。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。 | 食物セインの多い物を、食べて戴いたり、体操などをして体を動かしてもらおう。 | | NHKの朝のテレビ体操は、皆で実施している。 |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 食後は必ず、口腔ケアの誘導をする。 出来ない方は、介助で行う。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|---|--------------------|----------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | ケアシートに水分量を記入して、チェックしている | | 20：00頃には、就寝前の水分補給をもらっている。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。 (インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等) | 今の所、感染症にかかった入居者様はいない。 | | 手すりやテーブルなど、口にしても大丈夫な塩素系洗剤で拭いている。 |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | まな・板フキン・コップなど塩素系洗剤で、消毒している。 | | 食事を残されて30分たったら、廃棄している。 |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 表札は手作りで、入り口には花などを、飾り気軽に、入ってもらえるように心掛けている。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 玄関や居間には、季節の花などを生けている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-------------------|---|
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 家庭的な作りで、リビングにはソファを置いて皆さんに、くつろいで貰っている | | |
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 今まで使われていた物を、最小限度持込させている。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 適度に窓を開け、換気を行っている。 汚物は新聞紙に包み、決められた場所に捨てている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居屋に手すりを付けて、転倒予防に努めている。 | | 転倒の危険性のある方は、コ-ルマットを置き、コールが鳴ったら直ぐにスタッフが行き対応している。 |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 混乱時には傾聴を行い、安心して過ごして戴いている。 | | |
| 87 | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 天気の良い日には、屋上でランチやおやつを、食べて楽しんで戴いている。 | | |